



敬愛する友人と支援者の皆様

猛暑の夏となりました。今年は節電が呼び掛けられているので、暑い日々がさらに暑く感じると思います。しかし東北の方々にとって、この暑さが重荷をもう一つ増やすことになり、手伝っているボランティアの方々にとっても、大変であることを覚えたいと思います。

今月は、各国の DMI の学校に関するニュースレターを同封します。多くの皆様方が学校支援、個々の生徒への支援をしてくださり、お祈りと金銭的なご支援を感謝いたします。里親支援をしてくださっている何人かの方々に、最近の写真や報告を送らせていただきます。しかし、申し訳ありませんがすべての里子の写真が届いているわけではありません。それらのものを入手しにくいこともあります。皆様のご支援を続けてくださることを心より感謝しております。

ネヴィル・ミュアーについて

多くの方々が DMI 国際総主事のネヴィル・ミュアーの健康を案じてお尋ねくださり、家族のためにもお祈りを感謝いたします。ネヴィルが体調を崩して入院した時から 1 年が経ちました。今は元通り回復し、いつものように一生懸命働きを続けています。まだ薬を飲んで定期的に血液検査をしますが、本人はとても元気とのことですよ。

フィリピンのダバオにある学校

ジェニー・リードが学校報告を書いた後に、ダバオの学校と寮に被害をもたらした鉄砲水の洪水がありました。ダバオのリーダーであるジョシュアは次のように書い



ダバオ寮の中
Inside the Davao dorm

てきましたのでお知らせいたします：

未明のことで皆が深い眠りについてた時、2階で寝ていた私たちは一階での物音と停電のため目が覚め、水は腰までの高さには達し、強い勢いで流れていました。一階に居たろうの子どもたちは自分の物を持ち出していました。一人の少年は眠り続けてベッドが水浸しになって始めて目が覚めました。持ち出せないで流されたものは、冷蔵庫、アイロン、ストーブ、扇風機、台所用品、椅子、ソファ、戸棚、テーブルなどでした。



上がっている水位 Rising water

鉄製の門が開いて、テーブル、椅子などが100メートル先の隣のコンクリート塀まで流され、遂にその塀も崩れました。特に大きな被害を受けたのは、窓まで達した水の中に沈んでいた2台の車でした。道路の水流は強く、隣の駐車場にあった車は、早朝に大きな水路まで流されてしまいました。

幸いなことに私たちの建物は3階まであり、水が増してきても逃げ場がありました。お昼頃まで水が増したり退いたりするのを眺めていました。隣人たちは自分の家の屋根に上がっていました。DMIの高い建物を感謝します。屋根に上ることなく、床のスペースがありました。



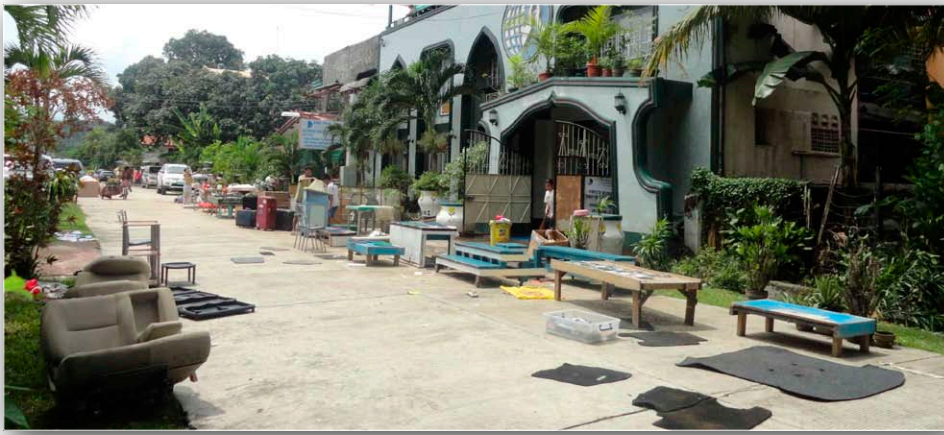
物を持ち出す Saving items

世界各国の DMI の働きを支援しお祈りくださっている皆様、心から感謝しています。

日本の DMI 理事会を代表して

Alayne Madory

DMI 国際ろう者支援会 日本
理事長 アレイン・マドレ



ダバオ寮の外で物を乾燥する Drying items outside Davao dorm

DMI JAPAN Summer 2011 - English -



Deaf Ministries International

DMI 日本部

Web: <http://japan.deafmin.org>

Email: info@japan.deafmin.org

郵便と電話は、大阪インターナショナルチャーチ：

〒540-0004 中央区玉造 2-26-47-407

Tel/Fax: 06-6768-4385

DMI 国際本部 (オーストラリア)

Web: <http://deafmin.org>

Email: muir@deafmin.org

P.O. Box 395 Beaconsfield Vic. 3807
Australia

Tel: +61-3-5940-5430

Fax: +61-3-5940-5432

Dear Friends and Supporters of DMI,

Summer has arrived with its very hot days. This year as we are asked to save electricity in every way possible, I am sure the hot days will seem hotter than usual. But we need to especially remember the folk in Tohoku, for whom the heat will add yet another burden to daily living and make it hard for volunteers as they seek to help.

This month I am sending you a newsletter about the schools which DMI runs in various countries. Many of you now sponsor schools rather than individual students, and we appreciate your continual prayers and financial support. For those who sponsor children, we have updated photos and school reports for many of you. Unfortunately we have not received a report and/or photo for every child sponsored by a Japanese. It is hard to get photos and reports sent from some countries. But please be assured that your continued support is much appreciated.

Executive Director

Many have enquired about the health of DMI Executive Director, Neville Muir, and we thank you for your prayers for him and

his family. It is a year since he collapsed and was hospitalized, but we give thanks to the Lord that he has now recovered and is once again working as hard as ever. He is still on medication and regular blood tests, but says he is feeling fine.

Davao School in the Philippines

Since the school reports were written we have heard of flash flooding in Davao, which hit the DMI school and dormitory there. Joshua, the leader in Davao, wrote the following –

It happen in the wee hours when we are all in acceleration of a nice needed asleep, what wake us up in the second floor is the commotion downstairs and power block out, only to find that the water is already waistline and coming with a strong current. The boys in the ground floor were already in commotion, saving their things. Only to find out later there was one deaf boy who sleep soundly and was awoken by water coming up to the level of his bed. We have no chance to save the refrigerators, presser, stoves, electric fans, kitchen utensils, chairs, sofas, cabinets and tables all floating in all

directions. Iron gates were opened by the strong current and our tables, chairs and things were carried 100 meters away to a concrete wall of our neighbors, that wall also later give way. The big damage was two cars submerge in water at window level. The water on the road is so strong that cars of our neighbor park there was carried to the big canal early in the morning.

It's good that our building is until third floor, we have reserved option where to go and what to do if water continue to rise, the whole early morning was spent watching and waiting for water to rise and fall. Our neighbors went up to their roof, spend their early morning there. Thank you Lord for this DMI high building, we need not climb the roof, we still have floors to spare.

Thank you all for your continued support and prayers for the work of DMI worldwide.

On behalf of the Japan Board,

Alayne Madory

Chairperson, Japan DMI Board



敬愛する支援者の皆様

フィリピン、ウガンダ、タイ、そしてケニアで、DMIの学校の生徒たちが公立試験に合格して、高等学校に進学しているのは嬉しいことです。一生懸命勉強しなくてはなりませんので、良い態度と忍耐をもっていることが分かります。ミャンマーの生徒たちはまだDMIの学校に通っていますが、他の学校でも学び、成績は公立学校の健常者と同様にしています。これらの国のろう者にとってこれは素晴らしい成果で、生徒と共に、愛と多くの時間をかけて献身的に教えている教師たちを称賛します。DMIの大学生も学びを続け、教師や指導者になってろう者社会の支えとなっています。皆様の金銭的なご支援は、確かにその学校に届けられています。

ろう教育のご支援を続けてくださって感謝します。

ケニアの学校の生徒4人は健常者が受ける難しい公立試験に合格し、クジャ特別ろう者高等学校に入学しました。

もう一つのうれしいことは、ろう者支援聴覚クリニックと医療チームの訪問があり、耳鼻咽喉の診察と聴覚テストを受けました。生徒によっては、他の医師への受診、耳の炎症治



療と薬、また重度の難聴などが確認されました。昨年に引続き学校対抗スポーツ大会に参加し、何人かの生徒は学校代表で地域スポーツ大会に加わり、全国大会にまで進出しました。スポーツが大好きで優れたスポーツマンですが、ほとんどの生徒がスポーツシューズ無しで試合をしています！

ウガンダでは、カンパラ近郊のワキノ高等学校の生徒の一人が新聞記事に掲載されました。シャリフはAレベルの試験に最高得点で合格し、ろう者の社会福祉関係への就職を希望しています。それは公立高校の最高レベルの試験です。DMIが支援している他の3人も合格しました。その生徒たちにとって何とすばらしい達成でしょう！今ウガンダで大学レベルのろうの生徒が数人います。

生徒の一人レイチェルは、今アフリカで発生している結核にかかっていた。学校を休学していましたが、今は回復に向かっています。家族は彼女に必要な栄養と薬を与えられないので、牧師家族の世話になっていました。病気の間もご支援を続けてくださった方に特に感謝します。



ミャンマーのカレイにあるインマヌエルろう学校の生徒は、クリスマスの遠足でジープに乗って川まで行き、魚釣りをしました。遠足はめったにないので、簡単な事でも良い思い出となります。子どもたちは、学校で教育を受けたことのない大人のろう者たちのいる村を訪問しました。手話を知らなくてコミュニケーションできないろう者たちに、今この地域で週末にビルマ手話を教えています。



更に、学校で高学年の二人の生徒は健常者の公立学校の試験で優秀な成績を修め、また低学年の生徒たちも良い成績を修めています。学校の休暇中に4人の教師がヤンゴンで2週間の研修を受けて、教員資格を更新しました。この地域ではマラリヤが発生するため、生徒は夜蚊帳を張って寝ています。病気になった時は大事に至ることのないよう直ぐに診療所に連れて行きます。



フィリピンのニュース

ビコルの中心部の **FCLC 学校のリガオキャンパス**で、20人の生徒が各々のレベルで卒業し、2人の女子生徒は高校後のコンピュータコースを終了しました。5人の生徒はマリナオキャンパスで卒業し、写真に写っています。今年は両方の学校の卒業式でネヴィルが話をし、卒業生に賞状やメダルを渡すことができたので、皆喜びました。

4月のお米の収穫時には雨が降り続き、水害を受けた地域もあって、収穫量は例年に比べて期待した半分に留まりました。トウモロコシが植えられており、被害をもたらす台風がない限り豊作を見込めるでしょう。学校は新しいパソコンを必要としています。新年度は6月6日に始まりました。

ミンダナオ島のダバオでは、小さな校舎の工事がなされて建物間の移動がしやすくなりました。生徒たちは、風邪を引き起こす原因になる雨にも濡れずにすむようになりました。写真にある建物を昨年購入し、ここに食堂、教室、教師の住居も入り、ご支援くださった方々に感謝しています。防災法に基づいた工事で、三ヶ月以内にキッチンを造らなければなりません。高等学校は文部省より高い評価を受けて、認可されました。



ミンダナオ島の北部にある**カヤガンドオロ**では、高校生の支援金が必要であったため、ゴム林に肥料を与えることができませんでした。しかし昨年生まれた子豚が全部売れて、今残っているのは、間もなく子を産む雌豚だけです。

ボロンガンとバコロドの寮は、新学年が6月に始まり

大勢の生徒が住んでいます。ボロンガンの豚が多くの子豚を産み、そしてバコロドの有機農園で建物が新築しました。インターネットカフェも始められ、自立のために自分で商売をしたり、輪タクの仕事を始めたりしています。

学校から面白い話を聞いています。パソコンゲームの好きな9歳の少年がボロンガンの寮に入りました。しかし問題を起こしたので若い生徒のいる所に移動させました。でもすぐに、一度しか連れて行ってもらったことのない何キロも離れたビデオゲームショップを見つけ、皆が心配して待っていた所に真っ暗な夜一人で歩いて帰ってきました。賢い少年なので優秀になると思いますが、今はもちろんしっかり監視されています。

エジプトの情勢に関してとても心配しています。国に暴動が起こっている時、ろう者にはどこが危険か分からないので恐れがあり、孤立を感じています。ろう者同士でメール連絡を取り合えて感謝ですが、皆様のお祈りをお願いします。うれしいニュースは、可能な所では大工職の講座が続けられていて、リーダーのソビーさんと奥さんのサリーさんに赤ちゃんが産まれることです。

タイでは、「マイサイン」保育園とレストランの移転が必要となりました。借用している持ち主がその土地を売却するためです。レストランを解体して新しい場所へ移転する利点は、そこに多くのろう者が住んでいるからです。そのろう者のニーズに対応し、町に近くなるのでさらに利用者を得ることができると期待しています。チェンマイろう学校に通うには問題がないので、多くの利点があります。これからの数ヶ月は忙しい時となるでしょう。

「マイサイン」の園児と「チェンマイろう学校」の低学年の生徒は、チェンマイ近郊の山岳地にある植物園に行きました。これは特別楽しい時でした。園児たちは揃いの明るい色の服を着ていたので目配りが楽にできました。



**DEAF MINISTRIES INTERNATIONAL
SPONSORSHIP NEWSLETTER - JULY 2011**



Webpage: www.deafmin.org

Dear Sponsors and Supporters

It is wonderful to see students from our schools now passing government exams and progressing to secondary education in the Philippines, Uganda, Thailand and now Kenya. They have to study extremely hard and it is a credit to their attitude and perseverance. The students in Myanmar, although still attending our school, are also extended in their learning and doing as well as the hearing students from the government school. This is an excellent standard for deaf students from these countries, and congratulations are due to their dedicated teachers who give so much love and time. Our college students also continue to study and become teachers and leaders of the deaf, giving ongoing support to the people in our deaf communities. If you sponsor a particular student please be assured that your financial contributions are sent to your particular student's school.

THANK YOU FOR YOUR CONTINUED SUPPORT OF EDUCATION FOR DEAF STUDENTS.

4 senior students at our school in KENYA passed the difficult government exams that hearing students sit, and gained acceptance to study at Kuja Special School for the Deaf to continue their secondary education. Another highlight was the visit by the Deaf Aid Mobile Hearing Clinic and medical team. All students were given an ear, nose and throat examination and their hearing was tested.



Some students were referred to other doctors, some were given treatment and medication for ear infections, and severe to profound deafness of all our students was confirmed. The school competed in Interschool Sports for the 2nd year, and several students went on to represent the school in the Zone Sports, and a few to the National School Sports. They love their sport and are very good athletes even though most students compete without sport shoes!

In UGANDA one of our students at Wakiso Secondary School near Kampala was featured in a newspaper. Sharif passed his A Level Exam with the top score and wants to become a Social Worker with the deaf. This exam is the highest Secondary School examination in the country. 3 other students we support also passed. What a great achievement it is for them! We now have several deaf students studying at tertiary level in Uganda.

One of our students has been ill with TB that still occurs in African countries. Rachael had to stop school but is regaining her health and nearly ready to return to school. She was cared for by a DMI Pastor and his wife because her family could not give her the good nutrition and medication she needed. A special 'Thank you' to her sponsors who continued to support her while ill.



The students at **Immanuel School in Kalay, MYANMAR** had a special Christmas Picnic and travelled by jeep to a river for fishing and a picnic. Outings are very rare for these children and simple activities give them happy memories. They also visited the deaf community in a village where the adults have never been to school. These people did not even have a sign language to communicate with each other, so we now conduct Burmese Sign Language Classes at the weekend for them to learn how to communicate with each other.



Our 2 eldest students have gained excellent results in their exam set by the government hearing school and the younger students have also achieved good results. 4 teachers attended teacher training for 2 weeks in Yangon over the holidays to update their qualifications. Malaria is a problem in this area and our students use mosquito nets when sleeping at school. They are quickly taken to a clinic if sick, to minimise this health problem.

In Thailand we have to move 'My Sign' Preschool, and the restaurant, because the owner wants to sell the property we rent. We can dismantle the restaurant, and there will be many advantages for us in the new area because it is where more deaf people live. This will help us to cater for their needs, and our restaurant will be closer to the city area so we hope more people will eat at our restaurant. Travel to Chiang Mai School for the Deaf will be okay so there will be lots of advantages. The next few months will be a busy time.



The children from My Sign and the younger children from Chiang Mai School for the Deaf visited the Queen Sirikit Botanical Gardens in the mountains near Chiang Mai. This was a special treat for them, and the bright shirts made it easier to keep an eye on them in the gardens!

NEWS FROM THE PHILIPPINES

In the central Bicol area at the Ligao campus of FCLC 20 students graduated from different levels including 2 girls who completed the Post-Secondary Computer Course. 5 students also graduated at the Malinao campus and are shown in the photograph. Both schools were thrilled that Neville could speak and award the medals and certificates to the graduates this year. The rice was badly affected by continual rain showers at harvest time in April and some areas were submerged in water so the amount harvested was only half of what was expected. Sweet corn has been planted and should produce a good crop if there are no serious typhoons. New computers are needed for this school. The students started their new school year on June the 6th.



At Davao on Mindanao Island some alterations have been made to the smaller building next door so that access from one building to the other is easier and students don't have to go out into the rain, which is often the cause of colds and flu.



We are very grateful to those who made donations to purchase this building last year (shown at left in the photo) and it includes a Dining Hall, Study Hall and teacher accommodation. Alterations have also been made to comply with fire regulations and we have been given 3 months to complete a school canteen. The Secondary School has been granted a higher classification by the Department of Education and is now a fully recognized school.

At Cayan de Oro on northern Mindanao Island the rubber trees at our plantation missed the fertilization program, because the finance was needed to support the students at High School. But the piglets born last year have been sold and the only pigs left now are the breeding sows that are expected to give birth soon.

Borongan and Bacolod Dormitories both have larger numbers of students for this new school year that started in June. The pigs produced well at Borongan and a farm building on the organic farmland near Bacolod has been commenced. The Internet Cafe is up and running and some deaf people have started small businesses such as a snack bar and a pedicab business to support themselves.

Many amusing stories come from our schools. A new 9 year old boy who loves computer games started at the Borongan Dormitory last year. However he was rather a rascal so it was decided to move him to Bacolod where there are more younger children. However he very quickly found his own way many kilometres to a video game shop that he had only been taken to once, then walked back home by himself at night in the pitch black while everyone was trying to find him! He is a bright boy and should make good progress, but needless to say he is now watched very closely.

We are very concerned about the situation in EGYPT. It is frightening for our deaf people when there is unrest in a country because they cannot easily find out where it is unsafe to go, and can feel very isolated. They are grateful for mobile phones so they can text each other, and would appreciate your prayers. The carpentry classes are continuing where possible and our leader Sobhy and his wife Sally are expecting a baby, so that is happy news to give you.

Thank you dear Sponsors and Supporters. 400 students are receiving education through your contributions.